

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達相談支援センターココペリ 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援に向け、小集団と個別（専門的支援）を組み合わせた活動の展開	専門職（言語聴覚士）を新たに採用し、また、経験豊富な保育士、児童指導員と共有しながら専門的視点で支援を実施している	関連事業所（理学療法士・作業療法士）を活かし、個々に応じた支援の充実が図れるよう活動やプログラムの工夫を継続していく
2	充実した活動支援プログラムの構築	5領域やガイドライン及び個別支援計画に則し、事業所内の職員が週替わり、日替わりで活動やプログラムを検討し支援につなげている	支援の質の向上に向け、研修や教育の機会を増やしていく
3	移行支援（家族支援含む）の展開	年長児を対象とし、5月・12月に事業所内相談を実施して、移行先や繋ぎ、共有等を保護者、関係機関と実施している 移行シートも保護者と一緒に作成し、就学がスムーズにいくよう支援を行っている	放デイ先との共有は前年8月頃から実施しているが最終受入決定まで時間を要している為、移行情報の共有や体験活動の場を増やし、移行の充実及び新たな受入放デイ先を検討していく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園や幼稚園等との情報共有は送迎時を含め適宜行っているが、交流機会が少ない	交流方法等検討しているが、園側の都合等もあり、実施には中々結びついていない	他事業所の取り組み事例等を参考に実践に取り入れていきたい
2	マニュアル類や非常時の対応の認知が低い	実施した様子やマニュアル類の周知が保護者へしっかり伝えきれていない	昨年度はお便り、参観会での掲示を行ってはいったが周知方法の工夫をしていく
3			